

おおむた 市議会だより

第216号

令和2年度
2月・3月議会

令和3年(2021年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



大牟田中央小学校 入学式
(令和3年4月9日)

【主な記事】

- 新型コロナウイルス感染症対策、豪雨災害からの復旧・復興など
新年度予算の議論・要望／ぎかいの話題(2ページ)
- 議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました／ぎかいの話題(3ページ)
- 大牟田市石炭産業科学館／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

新型コロナウイルス感染症対策、豪雨災害からの復旧・復興など新年度予算の議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(山口雅夫委員長、城後徳太郎副委員長)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月15日から22日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症対策に関すること、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた災害対策経費に関すること、大牟田市健康福祉総合計画の策定に関することなど、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果を委員長報告書にまとめ、3月25日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和3年度各会計予算の概要(1万円未満切り捨て)

区 分		予 算 額	対前年度当初比
一般会計		573億0,000万円	3.3%
特別会計	国民健康保険	146億8,086万円	2.2%
	介護保険	139億9,411万円	1.6%
	後期高齢者医療	21億3,695万円	1.8%
	病院事業債管理	12億4,129万円	26.5%
	水道事業	※1 41億1,035万円	△5.9%
	公共下水道事業	※2 67億1,176万円	△19.7%

※1 収益的支出 26億1,031万円
資本的支出 15億0,004万円

※2 収益的支出 33億8,303万円
資本的支出 33億2,873万円

予算特別委員会の主な意見・要望

全会派及び無所属委員全員による積極的な賛同により、議会の合意形成が図られた意見要望

1. 地域包括支援センターの適正な運用

地域包括支援センターの継続については、専門職の確保や引継ぎなどの諸問題もあることから、委託に加え市による直営を行うなどの様々な手法を取りながら、適正な運用になるよう指導されたい。

2. 小学校の給食調理室のエアコン設置

近年の猛暑により、給食室内が高温となる過酷な状況であり、調理員の健康や食材の衛生面を考慮する必要があることから、早急にエアコンの設置を検討されたい。

その他の意見・要望

◆シティプロモーションの推進

個別施設やイベント等の情報発信だけでなく、市の魅力を打ち出すため、企画力・発信力の向上に努めてほしい。

◆プラスチック製容器分別収集

令和3年10月からは市内全校区が対象となることから、柔軟な排出指導をするなど十分な周知・啓発を図ってほしい。

◆健康づくり活動支援事業

健康づくりの意識向上を図るため、ウオーキングアプリを活用できるよう、スマートフォン操作の出張指導をしてほしい。

◆地区公民館のWi-Fi環境

特定の部屋周辺しか利用できないため、生涯学習と避難所機能を持つ施設として、館内全体で利用できるよう整備してほしい。

◆男女共同参画の推進

諸外国と比較し、女性の社会参画の遅れが課題であるため、性別に関わりなく個性や能力が発揮できるジェンダー平等の実現に向け、着実に取り組んでほしい。

◆ドローンの整備

災害時の情報収集はもとより、通常業務でも幅広い分野で有効活用し、今年度の運用結果を基に整備の充実等も検討してほしい。

◆地域支え合いセンター

被災者支援は、生活再建の支援に加え、心や体のケアも必要であり、現在の相談会だけでなく、カフェやサロンなど気軽に集える場の提供をしてほしい。

◆ため池、井堰の管理

梅雨時期には、浸水対策として活用し、農業に利用していない箇所は、市の所管変更など効果的な管理方法を検討してほしい。

議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました

前号(2月1日発行)でお知らせしておりました市長への意見・要望(議会報告会や決算特別委員会、まちづくり・活性化特別委員会の議論をまとめたもの)に対して、次のとおり市長から回答がありました。

前号の記事は、
こちらで見れます



議会報告会での 意見・要望への回答

避難所については

○避難所の配置や運営は、地域の意見も聞いて決定していく。また、地震、津波、大雨などの災害種別に対応した避難所が分かるようにしている。
○多目的トイレについては、施設管理者と協議を進め、当面は組み立て式の多目的トイレを備蓄して対応する。
○災害物資の備蓄は、保管場所の確保に限られる施設もあるが、避難者数の実績を踏まえ配備を進める。

避難対策については

○今回の災害を踏まえ、様々な避難方法を想定した訓練内容を地域と一緒に検討している。
○早期避難を徹底し、要配慮者に応じた避難支援ができるよう、地域全体で体制を構築することが必要。地域住民だけでなく事業所や施設等の協力を求めて、地域の防災活動の支援に取り組む。
○災害情報の発信については、被害や避難所の避難者数の状況等をいち早く発信できるシステム導入に取り組んでいる。また、これまでのSNS等での情報発信に加え、テレビの文字放送を活用した地デジ広報導入にも取り組む。

浸水対策については

○「大牟田市令和2年7月豪雨災害検証委員会」の提言も踏まえ「排水対策基本計画」を策定し、河川や水路の対策を進める。改修費が高額となるため池や井堰など農業用施設の改修・改善も計画的に調査・改修に取り組む。
○白川排水区の大黒町ポンプ場は老朽化が著しいため、白川ポンプ場が建設中で来年度に供用開始する。
○7月豪雨で被災した三川ポンプ場の建て替えは、災害復旧工事で行うこととしており、基本設計を行っている。各ポンプ場の設備についても、点検・調査を計画的に進めていく。

決算特別委員会での意見・要望への回答

小中学校トイレの洋式化については

○令和2年度末の校舎の洋式化率は63.4%、体育館は76.7%であり、令和5年度の目標値66%(校舎)の早期達成を目指して取り組む。また、体育館も学校の実態に合わせて進めていく。

学校特別教室・体育館への

空調(エアコン)整備については

○未設置の特別教室に計画的な整備が図れるよう取り組んでいく。体育館への設置は大きな財源が必要となるため、国の有利な財源について調査していく。

まちづくり・活性化特別委員会からの意見・要望への回答

若者の地元企業への就業、定住の促進については

○これまでの取組に加え、荒尾市と連携し取り組む「地元企業と学校の情報交換会」の実施や、企業紹介冊子の作成、オンライン会社説明会等の実施を予定している。企業紹介冊子は、高校生や保護者等に配布し、SNS等も使い、広域的にPRするなど、継続的に地域企業と求職者のマッチングを図り、移住・定住促進にもつながるよう取り組んでいく。

地域資源を活かした生活・子育て環境の充実については

○スクールソーシャルワーカーについては、関係機関との連携を図り、人材の確保に努めていく。また、継続的に確保することが厳しいことから、常勤雇用も選択肢として検討する必要があると考えている。
○学童保育所・クラブについては、待機児童解消や利用時間の延長には支援員の確保が課題となっているため、支援員の処遇の改善と働きやすい環境整備を整えるよう努め、引き続き事業者との協議を進めていく。

健康づくりや健康寿命の延伸につながる取組については

○令和2年2月に生命保険会社と健康増進に関する連携協定を結び、健診等の受診勧奨呼びかけを行ってもらう取組を始めている。健康づくりサポーター制度導入については積極的な地域もあり、協議を進めていきたい。
○「おおむた+Walking」は、ARスポットエリアの追加などの充実を図り、登録者も1,805人(昨年2月より575人増)となっている。さらにキャンペーン商品に地元品を検討など取組を充実していく。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■令和3年度大牟田市 一般会計予算などを可決

2月・3月議会

令和2年度2月・3月議会は、2月26日に招集され、3月25日までの28日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、各会計の令和2年度補正予算等関係議案14件、令和3年度当初予算議案7件、防災危機管理室の設置による事務分掌条例などの議案12件、大牟田市副市長の選任等の人事案件8件、意見書案等の発議8件、大牟田市健康福祉総合計画の策定に関

する報告等5件の計54件でした。

本会議では、令和3年度予算編成の考え方、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害などの諸課題に11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告、請願の24件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議等をそれぞれ承認、可決、同意、採択、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌(1月～3月)

【1月】

- 12日 広報広聴委員会広報部会
- 15日 議会運営委員会
- 22日 各派代表者会、議会運営委員会

【2月】

- 3日 市民教育厚生委員会
- 5日 各派代表者会
- 12日 全員協議会、各派代表者会
- 17日 まちづくり・活性化特別委員会
- 19日 各派代表者会、議会運営委員会
- 22日 総務委員会、市民教育厚生委員会
- 24日 まちづくり・活性化特別委員会
- 25日 広報広聴委員会広聴部会、都市環境経済委員会
- 26日 第6回定例会本会議(開会)、政策等調整委員会、広報広聴委員会広報部会

【3月】

- 5日 第6回定例会本会議(質疑質問)
- 8日 第6回定例会本会議(質疑質問)、請願等調整委員会
- 9日 第6回定例会本会議(質疑質問)
- 10日 第6回定例会本会議(質疑質問)、予算特別委員会
- 11日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 15日 各派代表者会、議会運営委員会、第6回定例会本会議(補正関係議案採決)、予算特別委員会
- 16日 予算特別委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 予算特別委員会
- 19日 予算特別委員会
- 22日 予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会
- 23日 起草委員会
- 24日 起草委員会
- 25日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第6回定例会本会議(新年度関係議案採決、閉会)、広報広聴委員会広報部会
- 29日 都市環境経済委員会



委員会メモ



市税等のキャッシュレス 収納の開始

【総務委員会】

3月11日の委員会で、令和3年度より市税等の新たな納付方法として、市がキャッシュレス収納(スマホアプリ及びクレジットカードでの納付)を実施する旨の報告を受けました。

スマホアプリでの納付は令和3年4月から、クレジットカードでの納付は同年6月から開始され、広報おおむたなどで市民周知が図られる予定です。

新型コロナウイルス ワクチン接種

【市民教育厚生委員会】

2月22日の委員会で、ワクチン接種のスケジュール、予算額等の説明を受けました。

3月中旬以降からコールセンターを設置し、4月以降から65歳以上の高齢者への接種が開始されます。接種については、市民全員に個別通知があるほか、個別、集団での接種体制等の情報を広報おおむた等で周知されます。

プラスチック製容器包装 分別収集の拡大

【都市環境経済委員会】

3月25日の委員会で、現在モデル収集を実施している4校区に、令和3年4月から新たに4校区(吉野・三池・みなと・大正)を追加し、さらに令和3年10月から、市内全校区での実施に向けて取り組む旨の説明を受けました。

これを受け、今後拡大される実施校区における周知方法等について質疑を交わしました。

まちづくり総合プランに係る 意見・要望への回答

【まちづくり・活性化特別委員会】

2月24日の委員会で、本特別委員会で合意形成を図った3件の意見・要望について、関係課等からそれぞれの回答内容の説明を受けました。

これを受け、回答項目ごとに委員からの質問や確認を行いつつ議論を交わし、その後、委員間討議を行いました。

議案等の審議結果

議案等名		会派等名 議員名		自民・未来クラブ										公明党議員団				民主・護憲クラブ				無所属			賛成 数	審議結果	
				徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司(議長)	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂	森遵	森竜子	山口雅夫	三宅智加子	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝			北岡あや
発議第24号	一括交付金制度の復活と拡充を求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	5	少数否決
発議第25号	地域の中小企業・小規模事業者への支援充実を求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決
議案第92号	令和２年度大牟田市一般会計予算	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第104号	令和３年度大牟田市一般会計予算	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第105号	令和３年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第106号	令和３年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第107号	令和３年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第117号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第118号	大牟田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第119号	大牟田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第120号	大牟田市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第127号	大牟田市副市長の選任について〔高井良優氏〕	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	同意
議案第128号	大牟田市教育委員会教育長の任命について〔谷本理佐氏〕	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	同意

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意、採択、異議なし。

議案第 91号	専決処分について（令和2年度大牟田市一般会計補正予算）
議案第 93号	令和2年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 94号	令和2年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 95号	令和2年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 96号	令和2年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第 97号	令和2年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 98号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 99号	大牟田市健康福祉推進会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第100号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第101号	請負契約の一部変更について（大牟田駅連絡橋改修工事委託）
議案第102号	請負契約の一部変更について（大牟田市防災行政無線整備業務委託）
議案第103号	建物収去土地明渡等請求事件の和解について
議案第108号	令和3年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第109号	令和3年度大牟田市水道事業会計予算
議案第110号	令和3年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第111号	大牟田市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について
議案第112号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市社会福祉施設等評定委員会の改正）
議案第113号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市障害児就学指導委員会の改正）
議案第114号	大牟田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第115号	大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第116号	大牟田市花ぶらさ館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第121号	大牟田市犯罪被害者等支援条例の制定について
議案第122号	大牟田市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第123号	令和2年度大牟田市一般会計補正予算
議案第124号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔北原明喜氏〕
議案第125号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔山田芳久氏〕
議案第126号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔日比生純二氏〕
議案第129号	大牟田市教育委員会委員の任命について〔嶋田桂子氏〕
議案第130号	大牟田市公平委員会委員の選任について〔古賀裕基氏〕
請願第 2号	国立病院の機能強化を求める請願
発議第 22号	大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
発議第 23号	大牟田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
発議第 26号	学校施設への空調設備の導入等整備の充実を求める意見書案
発議第 27号	国立病院の機能強化を求める意見書案
発議第 28号	地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書案
発議第 29号	男女共同参画の推進を求める意見書案
諮問第 2号	人権擁護委員候補者の推薦について〔安元洋子氏〕

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、市議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで6月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

代表質問

新年度予算編成に当たっての市長の思い



新年度予算編成に当たっての市長の思い

問 令和3年度の予算編成については、市長就任直後の令和2年度の当初予算と違い、関市長の大牟田のまちづくりの思いが本格的に反映される初めての予算編成だと思うが市長の思いはどうか。

答 令和3年度予算は、災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化を最優先課題としながら、併せて、「若者が夢をもって働くまちづくり」、「子育て世代に魅力的なまちづくり」、「安心して元気に暮らせるまちづくり」の三つのまちづくりの実現に向け、全力で取り組みたい。

三川ポンプ場と新開町地区の復旧・復興事業

問 今年の雨季までの取組と、今後の計画について聞きたい。

答 三川ポンプ場については、新たに口径500ミリの仮設ポンプ2台を設置して、毎分50立方メートルの排水能力を確保するための工事に着手し、

浸水による機能停止とならないよう電気設備のかさ上げなどの対策を進める。

また、排水強化として、国道389号線姫島町交差点

から東側市道160メートル区間において、既存の水路等の拡張工事を実施しており、5月中に完成を予定している。

新たなポンプ場建設については樋口公園に設置し、令和3年度に基本設計を踏まえ、一日も早い着工、完成ができるよう、国や関係機関と協議を進めている。

新開町地区については、令和3年の雨季までに雨水を大牟田川へ排水するためのポンプを設置していく。また、完成時期は県の災害復旧工事箇所と重複するため、県と調整・連携が必要で、令和3年度末を予定している。

新年度予算における市長の重点施策

問 新年度予算に反映されている市長の重点施策について聞きたい。

答 「若者が夢をもって働くまちづくり」としては、イノベーションの創出や企業のIT化の推進を。企業誘致の推進としては、(仮称)新大牟田駅南側産業団地の整備を。さらに、動物園開園80周年やともだちや絵本美術館と連携し

た記念式典等を開催していく。

過疎地域指定解除に伴う本市財政への影響

問 過疎地域の指定から外れることは、自立という一面だけではなく、財政構造や事業展開に大きな問題があると思うが財政への影響は。

答 交付税措置7割という有利な過疎債が活用できなくなることについては、厳しさが伴う。そのため、今後予定される建設事業については、事業費やスケジュール等を十分精査する必要がある。

(仮称)大牟田市総合体育館及び延命公園整備

問 総合体育館、延命公園周辺の整備についての市長の思いを聞きたい。

答 スポーツの振興や市民の健康づくりを図るため、トップレベルの公式戦の開催はもとより、子供から高齢者、そして障害のある方々にも安全で利用しやすい施設を目指す。

また、防災拠点・機能の充実としての十分な避難スペースを確保するとともに、延命公園及び周辺地域を市民の憩いの場として整備したい。



(現在の市民体育館 S49築)

災害に強く市民が安心し、希望をもって生活できるまちを目指して



などがあり、流動的な状況だが、早めに情報をキャッチし、臨機応変な対応をお願いしたい。

また、今回ワクチン接種を円滑に推進

・勝立・四箇の4つであるが、延命配水池以外は耐震化済みであり、延命配水池についても更新・耐震化工事に着手しており、令和4年度には耐震化率100%となる予定。

基幹管路については、延命配水池の更新と併せて耐震化を行っており、令和4年度の耐震化率は約41%となる予定。

今後も、計画的・効率的に更新し、耐震化を行いたい。

新型コロナウイルス対策

問 本市における新型コロナウイルスワクチン接種の現時点でのスケジュールは。

答 ワクチン接種は、2月17日から国立病院機構などの医療従事者を対象に先行接種が開始され、その他の医療従事者にも県内は3月5日から接種開始と報じられたところ。

65歳以上の高齢者の優先接種は、4月12日から開始とスケジュールが示されているが、ワクチンの配布量が限られる見込みであるため、確保できた量に合わせ徐々に接種者を増やすことになると考えている。

以降は、基礎疾患のある方、64歳以下の方など、国の示した優先順位に従い、接種対象を広げていく。

なお、接種は無料であり、市民負担はない。

現在は、大牟田医師会と接種を円滑に進めるための協議をしながら準備を進めており、今後準備が整い次第、市民に情報をお知らせしていきたい。

再発言 ワクチン製造の状況

するため、プロジェクトチームを設置されたが、前代未聞の国家的一大プロジェクトであり、大変だと思うが、よろしくをお願いしたい。

防災・減災・インフラ強靱化

問 所管委員会に報告された地域強靱化計画の趣旨、考え方について聞きたい。

答 国・県の国土強靱化計画、及び7月豪雨災害を踏まえ、安全・安心な地域経済社会の構築に向けた地域の強靱化を推進するため、大牟田市地域強靱化計画を策定したもの。



問 水は生きる上で最も大切であり、自然災害が起きても途絶えてはいけない。本市の浄水施設、配水池及び水道の基幹管路の耐震化の現状は。

答 市内のありあけ浄水場は既に耐震性能を有している。

また、配水池は延命・甘木

デジタル社会の実現への取組

問 「若者が夢をもって働くまちづくり」を目指し、イノベーション創出の拠点整備と支援ネットワークの構築が新年度事業に掲げられているが、これには行政の関わり方が重要と考えるが、市長の考えは。

答 地域にイノベーションを創出するため、市内外からの垣根を超えた人・企業を呼び込み、活潑な交流を促し、新たな連携やチャレンジによる新しい価値を生む環境が必要。

このため、中心市街地エリア内に貸しオフィスやコワーキングスペースなど、複合的な機能を持つイノベーション拠点の整備を図りたい。

また、市・経済団体・地元金融機関・教育機関などによる支援ネットワークを構築し、産学官金が連携した新たなイノベーション創出を図りたい。

再発言 新たな目標・希望を持って、若い人たちが大牟田で働くことができるよう、事業の成功に努められたい。

代表質問

本市の新型コロナウイルス感染症対策としての確な状況把握と判断を



動画視聴

民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員新型コロナウイルス
感染拡大

問 市内事業者に与える影響についての現状認識は。

答 飲食店をはじめ、関係業種にも影響を与えている。

問 ワクチン接種に対する課題と市民への情報提供は。

答 医療関係者の確保、ワクチンの分配量など、各自治体から懸念の声が上がっている。国から連絡があり次第、市民に周知し、医師会と協議を行いながら、準備を進めたい。



問 ワクチンの接種方法は。また、65歳未満の市民の接種時期は。

答 接種方法は医師会と協議中。65歳未満の接種時期について、国は明確にしていない。

問 医療機関へ自力で行けない市民への対応は。

答 医師による訪問や福祉サービスの利用、何らかの交通

手段で会場まで連れていくことを検討する必要がある。

問 ワクチンの保管場所から接種会場への輸送方法は。

答 職員が責任を持って配送することを基本として、タクシーの利用も検討している。

再発言 24時間輸送体制が取れるタクシーの利用を検討してほしい。

問 市民が安心して接種できるように、市長からメッセージを。

答 市民の大きな期待を感じている。国から情報が示されていないが、医師会の協力を得ながら、円滑な実施に向け全力で取り組む。

豪雨災害の今後の取組

問 検証委員会から提言書が提出されたが、市長の所見は。

答 被害を重く受け止め、提言内容の検討を行い、速やかに対策を進めていく。

問 避難所の空調についての考えは。

答 空調のある教室も利用し、長期化する場合は、レンタル機材も含めて対策を講じる。

問 ペットの同行・同伴避難についての検討状況は。

答 受入れ可能な避難所について検討し、周知を行う。梅雨までにはマニュアル等を作成し、職員へ指導したい。

過疎新法による影響

問 過疎地域から卒業団体になった場合の本市への影響は。

答 平成22年から過疎地域に指定され、約133億円の過疎債を発行している。経過措置が設けられ、6、7年は過疎債の発行が可能のようだが、経過措置終了後は、公債費負担の増加が見込まれる。

問 経過措置中の過疎債発行額への影響は。

答 経過措置中は発行額の上限が基準額の500%とされ、概算で100～125億円程度発行できていると考えている。

問 今後の建設事業に対する影響は。

答 過疎債は少なくとも、令和8年度までは発行できると見込んでおり、(仮称)総合体育館や新産業団地の建設に影響はない。学校再編や新たなごみ処理施設建設は、過疎債以外で交付税措置の有利な起債の活用を検討していく。

学校の安全

問 市内小中学校の防犯カメラの未設置は29校中21校と近隣市町に比べ圧倒的に少ないが、設置についての考えは。

答 防犯カメラは、児童生徒の安全・安心の観点から効果がある。予算措置等については協議・検討していきたい。

再発言 県に上限20万円で2分の1の補助金があるため、レンタルを含め設置の検討を。

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
森 竜子 議員

諏訪川の浸水対策は 熊本県との連携を

問 浸水対策はポンプ増強だけでは不十分であり、流域治水への転換が求められている。本市でも諏訪川の浸水対策

の検討が必要。熊本県側との連携はどうなっているのか。

答 御指摘のとおり、諏訪川の浸水対策を進めるには熊本県側と十分連携を図りながら、福岡県、関係市町とも対策を進めていく。

災害復旧・復興は被災者に 寄り添った支援継続を

問 生活再建する中で、住宅には大きな費用がかかり自力だけでは難しい。申請締め切りとなる公費解体や応急修理について期間延長や2次申請

による対応を求めたいが。

答 解体については、一定期間に、費用償還による支援を検討する。また、住宅の応急修理は、これまでは国から延長を認めてもらってきた。期限内に申請すれば4月以降の着工でも可能としている。

問 国や県の支援や協力が必要であれば、市長自ら働きかけ被災者に寄り添った支援に引き続き取り組んでほしいが。

答 国や県に対する要請も含め、今後出てくる課題は市として引き続きしっかり考える。



動画視聴

公明党議員団
山田 修司 議員

おおむた地図ナビへの 令和2年7月豪雨の 浸水実績掲載

問 掲載はどのような内容で、今年の雨季までに間に合うか。

答 令和2年7月豪雨の浸水実績のマップは、各消防団か

ら浸水状況の聞き取りを進めており、その結果と市内の地形から推計を行い、作成する。本年4月中に完成させ、梅雨時期前までにインターネット上の「おおむた地図ナビ」に登載する予定。

問 その地図を紙媒体として全戸配布する考えはあるか。

答 紙媒体として市内に配布することも検討している。

浸水痕・浸水想定 看板等での表示

問 洪水ハザードマップで、

浸水の危険性がある箇所の浸水の深さと今回の水害の水深を示す看板を設置できないか。

答 浸水痕の表示については、過去の浸水の被害を伝承し、災害の記憶を風化させない取組になると考えている。

また、まちなかにハザードマップの情報を表示することは、身近な場所で災害リスクを感じることができ、災害時の避難にも役立つものと考えている。このため、他市の事例も参考にしながら、表示の場所や方法など検討したい。



動画視聴

民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

65歳問題について

問 法律で障害福祉サービス利用者が65歳になった途端、介護保険が優先される問題で、全国で介護時間等が少なくな

り、複数の裁判が起きている。65歳になり、加齢とともに重度化し、より介護が必要となる中、サービス量が減ることに納得できないとの切実な相談を受けている。これは財政論の前に人権の問題で、本市の障害者は65歳になることを心配している現実があり、改善すべきだが、市の考えは。

答 障害の特性から要介護認定の結果で支給量が減少する場合、その方の日常生活に支障があり、障害福祉サービスによる支援が必要なときは、

一定の範囲で障害福祉サービスを上乗せして支給している。

問 市長の率直な考えは。

答 障害のある方が65歳になり、障害福祉制度から介護保険制度に移行した場合でも、日常生活に影響が出ないようにすることは大切であり、必要な支援を不足なく受けることができるよう、個別のケースに応じて柔軟に対応している。今回様々な御指摘をいただいたが、今後も1人1人に寄り添い、必要な支援が受けられるよう検討していく。

一般質問



健康的で住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

問 市内6か所の地域包括支援センターのうち3か所の受託先が未定だった中、うち2か所を大牟田未来共創センタ

ーが受託することになった。

同センターでの運営には、どのような組織・団体が協力していくのか聞きたい。

答 同センターが運営する地域包括支援センターには、市内の医療法人や社会福祉法人より専門職を派遣いただき、業務に従事してもらう。

再発言 地域包括支援センターによっては、近年において数回目の運営変更となる。今後のセンター運営に当たっては、地域に根差したものとなるよう、人材の継続性を当局

の支援としてお願いしたい。

問 本市で実施される、ほととあんしんネットワーク模擬訓練へのGPSなどのICT活用等の考え方を聞きたい。

答 模擬訓練では、見守り体制の構築を通して認知症の理解を深めるとともに、地域で支え合うまちづくりを進めていくことに重点を置いている。

行方不明者搜索の点では、ICTの活用は有効と思われるが、見守りでなく監視と受け止められる可能性があり、慎重に検討すべき課題である。



庁舎整備基本方針(案)の再検討

問 庁舎整備の今後の検討については、市民アンケートの結果を踏まえ、平成31年2月に策定した大牟田市庁舎整備

に関する基本方針案の再検討を行うとされていたが、同基本方針案の再検討の進め方について聞きたい。

答 本館の利活用を含め、財政負担の軽減につながる公民連携の実現可能性等の調査を実施し、概算費用や維持管理費用のシミュレーションを行いたい。

問 公民連携の可能性調査の状況と、今後のおおむねのスケジュールについて聞きたい。

答 調査の状況については、本館を活用した事業にどのよ

うなものがあるか、その事業スキームや条件などを、民間事業者へ聞き取り中である。

今後のスケジュールについては、令和3年6月頃に中間報告を、その後モデルケース案の取りまとめを予定しており、令和3年度内には改めて庁舎整備の基本方針案を取りまとめたいと考えている。

再発言 しっかりとした検討と議会や市民への報告、意見の聴取を行った上での基本方針の策定を要望する。



地元を支える企業への支援

問 地元企業への支援の取組状況を伺いたい。

答 企業の資金ニーズに対応した制度融資による支援、設

備投資や取引拡大、技術開発などの企業の新たな取組に対する支援、人材確保に対する支援の三つの観点から支援を行っている。

問 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経済状況の中、国・県・市の支援を活用し、事業を継続する中小企業や個人事業主は多い。コロナ禍における中小企業への今後の支援について聞きたい。

答 地域経済活性化策として市内登録店での消費に対してポイントを付与するキャッシ

ュレスキャンペーン、商工会議所から販売額8億円、プレミアム率20%のプレミアム付商品券が発行予定である。

再発言 今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続き、経済状況は厳しくなり、事業者にとっても大変厳しい状況が続くと考えられる。コロナ禍における本市の事業者への支援は、国や県の支援を活用しながら、本市の事業者が必要としている支援の調査とともに、市独自の支援を検討し、実施するよう要望する。

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
桑原 誠 議員

学校給食調理室の 衛生環境対策等

問 中学校給食センターを除く自校式給食調理施設にはエアコンが設置されておらず、大変厳しい状況の中で調理が

行われている。

衛生、労働環境などの面で、エアコンの設置が必要と考えるがどうか。

答 エアコン設置については、施設面や財政面など幅広い観点から検討する必要があると考えている。

再発言 ぜひ国の有利な財源等があれば活用し、早急に改善してもらいたい。

犯罪被害者等支援条例

問 市長はどのような思いで

答 男女共同参画センターの女性相談件数は急速に増えている状況ではない。今後も状況把握に努めていきたい。

再発言 女性は非正規雇用が当たり前という考え方の社会にコロナ禍が直撃している。

男女共に能力が発揮できるような施策をお願いしたい。

ワクチン接種開始後も、 高齢者施設等の PCR検査は必要

問 通所や訪問介護の事業所でも、市がPCR検査を繰り返し行うべきでは。

同条例を提案されたのか。

答 安心して、安全に暮らせるよう、防犯等に関する意識啓発や安心・安全情報の発信を通して、地域の安全確保に取り組んでいる。

不幸にして犯罪被害等に遭われた方や御家族の皆様の御負担を早期に軽減するとともに、再び平穏な生活を取り戻すための支援が必要だと考え、条例を提案した。

再発言 市民の皆さんの気持ちに寄り添う条例だと思う。

感謝を申し上げたい。

答 県が計画的に行う業務であり、市単独で実施は難しい。

再発言 無症状の感染者を早期に発見し、感染拡大を防止するため早急に検査の実施を。

コロナ禍の厳しい 暮らしには手厚い公助を

問 新型コロナウイルス関係の支援策は、貸付もあるが、各種給付金等の紹介や生活保護制度の周知が今必要では。

答 ホームページでコロナ関係のページから生活保護制度への情報リンクを検討したい。



動画視聴

無所属
崎山 恵子 議員

ジェンダー平等の社会の 実現を、大牟田市でも

問 女性は非正規雇用やケア労働における割合が高く、コロナ禍のあおりを受けているが、市の状況認識は。

アクションプログラム(改訂案) などで全員協議会を開催



2月12日に、全員協議会を開きました。

全員協議会とは、市政全般

に関わる政策等についての協議を行うため、開かれる会議です。

大牟田市第6次総合計画アクションプログラム(改訂案)について、(仮称)総合体育館及び延命公園周辺の整備について、令和2年7月豪雨災害における被災者支援及び復旧・復興に向けた取組の現状と今後の予定について説明を受け、議論を交わしました。

スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

配信システムの変更により、以前からのパソコンによる視聴だけでなく、スマートフォンやタブレット等からも視聴できるようになりました。

どうぞご利用ください。

大牟田市議会
インターネット議会中継



大牟田市石炭産業科学館

～ 大牟田から今、石炭を語る、伝える、考える ～

世界文化遺産の ガイダンス機能が充実

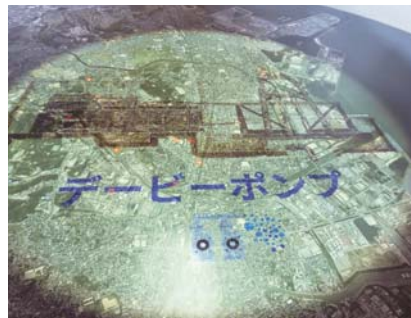
平成 7 年、大牟田市岬町に開館した大牟田市石炭産業科学館は世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」三池炭鉱・三池港ガイダンス機能としての整備が行われ、映像や音声での案内機能も充実されました。

石炭館は、石炭産業等に関する調査研究や資料の収集・展示・公開等を担ってきました。施設内には、地下の採炭作業が再現された迫力満点のダイナミックトンネル（模擬坑道）や炭鉱技術、生活に役立ってきた石炭の歴史を学ぶことができる展示コーナー、科学の不思議を学ぶことができる体験コーナーなどがあります。



今回の整備ではさらに明治日本の産業革命遺産や近代化産業遺産のガイダンス施設としての新たな役割を担っていることから、充実が図られ、團琢磨の胸像が出迎える「23 施設全体を語

る」コーナーでは九州・山口を中心とした 8 エリアにまたがる 23 構成資産についての映像も含め、紹介されています。



「三池の近代化産業遺産のフルヒストリーを語る」コーナーの大型スクリーンでは、「大牟田市近代化産業遺産をめぐる 7 つの物語」が上映されます。

石炭が発見された室町時代から物語がはじまり、三池港ができるまでの様子や戦前戦後の歴史、そしてエネルギー転換までを主人公の中学生が学んでいくというものになっています。



また、床のフィールドマップでは「今も生きている、近代化産業遺産のまち～フィールドミュージアムの環をぐるっとめぐる」として床に大牟田市内の航空写真を映写されています。

宮浦坑跡や宮原坑跡、専用鉄道敷跡、三池港、三川坑等の各遺産やサテライトのテーマ、見どころを紹介しているスクリーンパネルとあわせて位置を確認することもでき、自分の家を探したり、川の流れをたどるといった楽しみ方もできます。

春の企画展や ファミリーデーも開催

このほか同館では春の企画展「思い出の三川坑」（5 月 16 日まで）を開催し、三川坑に関連した写真や資料では、「三川坑の開坑」「戦時労働」「三池争議」「炭塵爆発事故」「三川坑の構内と坑内」の 5 つの記憶を紹介されています。

さらに、毎月第 3 日曜日は「石炭館ファミリーデー」として家族 2 人以上で入館すると、優待料金大人・高校生 420 円が 320 円、4 歳から中学生 210 円が 160 円になります。ジャークと触れ合えるイベントや演奏会、おはなし会などもありますので、ぜひ一度遊びに行ってみませんか。

編集後記

現広報部会で発行する最後の号となりました。市議会だより制作に当たっては、表紙や「おおむた自慢」に、大牟田の未来を担う子どもたちを取り上げるように努めてきました。コロナ禍ではありますが、令和 2 年 7 月豪雨災害の復旧・復興を一步でも前に進め、未来のまちづくりに取り組んでまいります。(M)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町 2 丁目 3 番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所